

分配金のお知らせ

2018年12月18日

野村アセットマネジメント株式会社

**「野村北米REIT投信(通貨選択型)」「毎月分配型」
2018年12月17日決算の分配金について**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村北米REIT投信(通貨選択型)」「毎月分配型」(以下、ファンドといいます。)の2018年12月17日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、基準価額の水準や配当等収益等(インカム収入)の減少などを総合的に勘案し、「豪ドルコース」、「ブラジルリアルコース」および「南アフリカランドコース」の分配金を引き下げることにいたしました。なお、その他のコースにつきましては前回決算の分配金額から変更ありません。

分配金引き下げの背景やファンドの投資環境については、次ページ以降をご参照ください。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	豪ドルコース (毎月分配型)	ブラジル リアルコース (毎月分配型)	南アフリカ ランドコース (毎月分配型)	米ドルコース (毎月分配型)	メキシコ ペソコース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	40円 (40円)	10円 (20円)	30円 (50円)	40円 (60円)	10円 (10円)	30円 (30円)
決算日の基準価額	10,355円	8,528円	5,859円	8,040円	13,317円	8,801円
決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算)	21,432円 (21,409円)	24,039円 (24,146円)	22,018円 (22,582円)	21,123円 (21,008円)	13,910円 (13,874円)	10,497円 (10,338円)
分配金額設定来累計	9,170円	12,210円	11,520円	9,610円	540円	1,620円

前回決算:2018年11月15日

設定日:各コース(「米ドルコース」「メキシコペソコース」を除く)は2009年10月21日、「米ドルコース」「メキシコペソコース」は2014年6月9日

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

————— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —————

【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。

なお、毎年3月および9月の決算時には、上記分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

*コースによっては、投資信託約款上「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

【「豪ドルコース(毎月分配型)」の分配金引き下げの背景】

「豪ドルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2015年1月中旬頃から軟調な動きとなり、2015年1月19日に14,794円であった基準価額は、2018年12月17日には8,528円となり、同期間の騰落率は-42.4%でした。一方、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-9.3%となりました。

ファンドの投資対象である北米REIT市場の投資環境が概ね堅調な中(5ページご参照)、運用により得られた期間収益に対し、同期間に払い出した分配金の比率が高いことが、基準価額の回復が鈍い要因となっています。

豪ドルの為替レート(対円)は、2015年1月末の91.1円から2018年11月末には82.9円まで下落(円高)し、基準価額の下落要因となりました。また、豪ドルの短期金利は、2015年1月末の2.5%から2018年11月末現在1.9%と低下し、為替取引から得られるプレミアムによるインカム収入の減少要因となりました。

北米REIT市場の動向や、通貨・金利の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、2018年4月の分配金引き下げ(30円⇒20円)に続き、今回の決算においても分配金を20円から10円に引き下げることといたしました。

<豪ドルコース(毎月分配型)の基準価額の推移>

期間:2009年10月21日(設定日)~2018年12月17日、日次

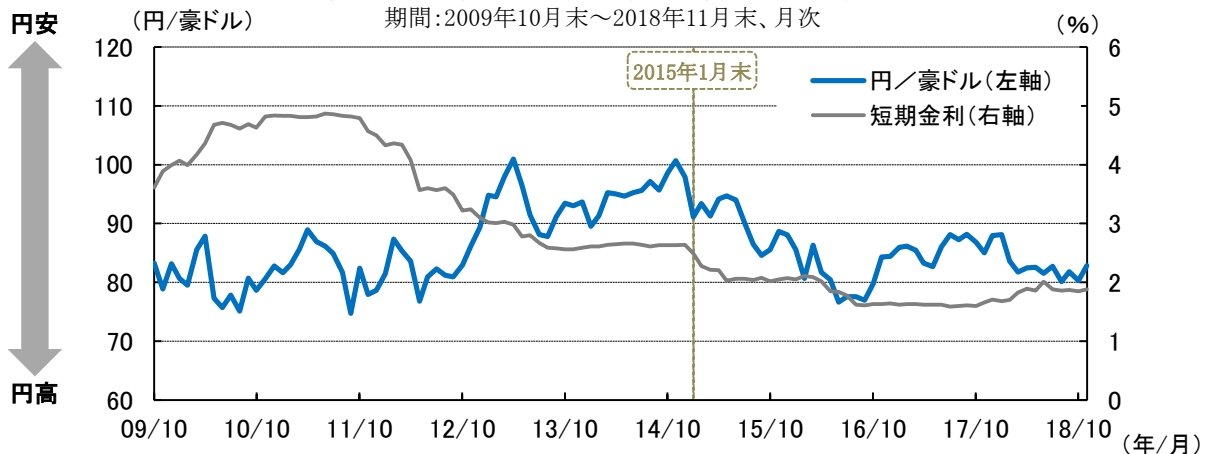


基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<豪ドルの為替レート(対円)と短期金利の推移>

期間:2009年10月末~2018年11月末、月次



短期金利:銀行手形1ヵ月
(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の分配金引き下げの背景】

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2015年1月下旬頃から軟調な動きとなり、2015年1月28日に11,531円であった基準価額は、2018年12月17日には5,859円となり、同期間の騰落率は-49.2%でした。一方、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-9.6%となりました。

ファンドの投資対象である北米REIT市場の投資環境が概ね堅調な中(5ページご参照)、運用により得られた期間収益に対し、同期間に払い出した分配金の比率が高いことが、基準価額の回復が鈍い要因となっています。

ブラジルレアルの為替レート(対円)は、2015年1月末の45.2円から2018年11月末には29.5円まで下落(円高)し、基準価額の下落要因となりました。また、ブラジルレアルの短期金利は、2015年1月末の12.1%から2018年11月末現在6.4%と低下し、為替取引から得られるプレミアムによるインカム収入の減少要因となりました。

北米REIT市場の動向や、通貨・金利の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、2018年4月の分配金引き下げ(80円⇒50円)に続き、今回の決算において分配金を50円から30円に引き下げることとしました。

＜ブラジルリアルコース(毎月分配型)の基準価額の推移＞

期間:2009年10月21日(設定日)～2018年12月17日、日次

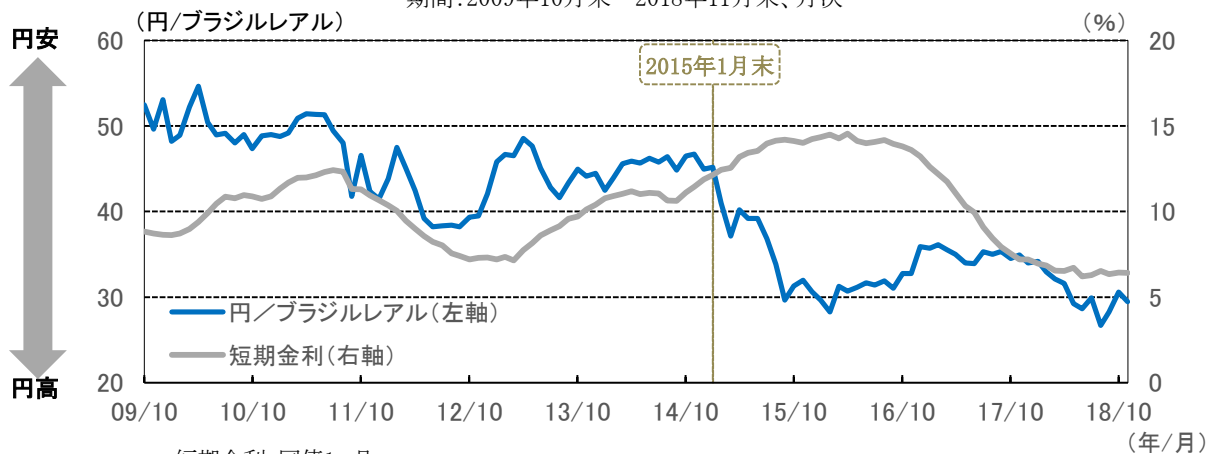


基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜ブラジルレアルの短期金利と為替レート(対円)の推移＞

期間:2009年10月末～2018年11月末、月次



短期金利: 国債1ヵ月

(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【「南アフリカランドコース(毎月分配型)」の分配金引き下げの背景】

「南アフリカランドコース(毎月分配型)」の基準価額は、2015年1月下旬頃から軟調な動きとなり、2015年1月27日に12,773円であった基準価額は、2018年12月17日には8,040円となり、同期間の騰落率は-37.1%でした。一方、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-7.1%となりました。

ファンドの投資対象である北米REIT市場の投資環境が概ね堅調な中(5ページご参照)、運用により得られた期間収益に対し、同期間に払い出した分配金の比率が高いことが、基準価額の回復が鈍い要因となっています。

南アフリカランドの短期金利は、2015年1月末の5.9%から2018年11月末現在7.0%に上昇し、為替取引から得られるプレミアムによるインカム収入の上昇要因となりましたが、為替レート(対円)は、2015年1月末の10.1円から2018年11月末には8.3円まで下落(円高)し、基準価額の下落要因となりました。

北米REIT市場の動向や、通貨・金利の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を60円から40円に引き下げることにしました。

＜南アフリカランドコース(毎月分配型)の基準価額の推移＞

期間:2009年10月21日(設定日)～2018年12月17日、日次

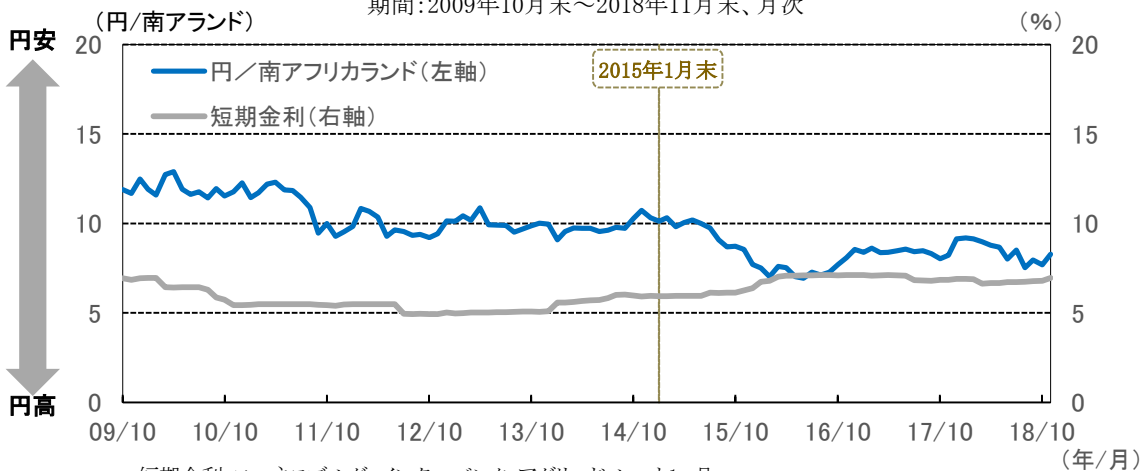


基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したのとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜南アフリカランドの短期金利と為替レート(対円)の推移＞

期間:2009年10月末～2018年11月末、月次



短期金利:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月
(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【北米REIT市場の投資環境】

北米REIT市場は、米国経済や不動産ファンダメンタルズ(基礎的條件)の改善を背景に、2009年10月末(ファンド設定月末)以降、概ね堅調に推移してきました。

2016年は、中国経済に対する懸念の広がりや原油相場下落などを背景に、米国経済の先行き不透明感が高まったことなどから年初は下落基調となりましたが、その後、原油価格が持ち直し、景気の先行きに対する過度の懸念が後退したほか、米金融当局が追加利上げに踏み切りにくくなるとの思惑が広がったため、北米REIT市場は上昇しました。8月以降は、利上げに対する警戒感が広がったうえ、11月の米大統領選挙でトランプ氏が勝利した局面では、積極的な財政出動を通じてインフレが進むとの見方から長期金利が大きく上昇したため、下落基調となりました。

2017年は、トランプ政権による税制改革によって景気が下支えされるとの期待感や、FRB(米連邦準備制度理事会)による段階的な利上げによる長期金利の上昇への警戒感、北朝鮮による地政学的リスクが顕在化したことなどを背景に、北米REIT市場は一進一退の動きとなり、年間を通じて概ね横ばいで推移しました。

2018年に入ると、市場予想を上回る米国経済指標が相次いだことから利上げペースが速まるとの憶測が広がり、長期金利の上昇と株式市場の下落を受けて、北米REIT市場も下落しました。その後、2月の雇用統計の結果により、FRBが利上げのペースを加速しづらくなるとの見方が広がったため、3月以降は概ね上昇傾向で推移しました。

＜北米REIT市場の推移＞

期間:2009年10月末～2018年11月末、月次

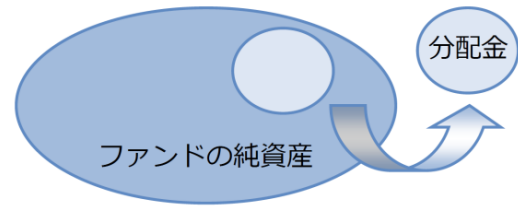


北米REIT市場: S&P北米REIT指数(配当込み、米ドル建て)
 (出所) FactSetのデータを基に野村アセットマネジメント作成
 S&P北米REIT指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



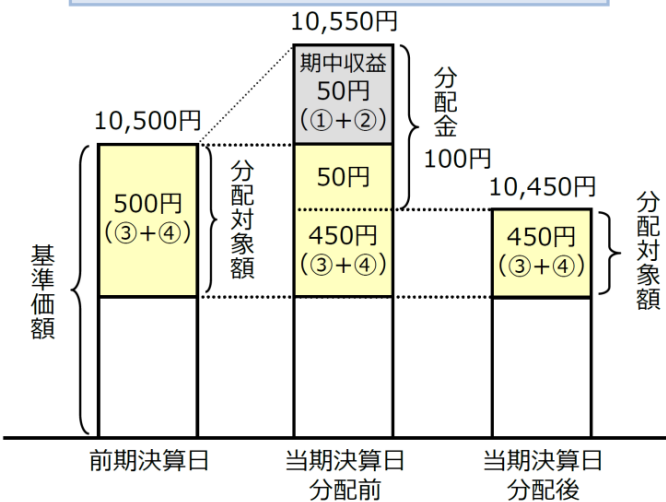
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

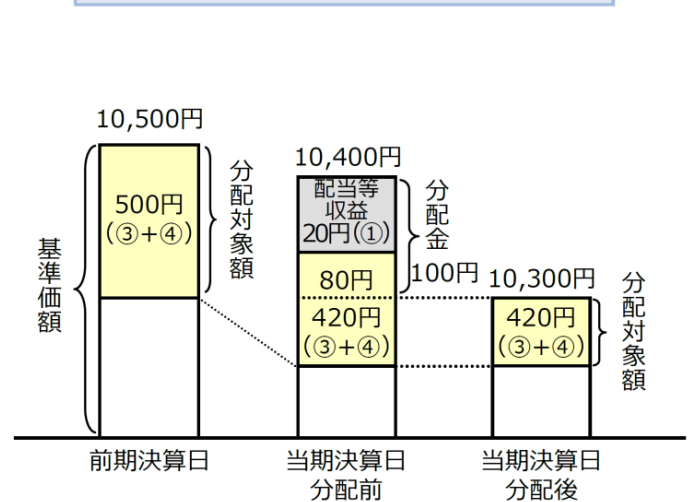
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

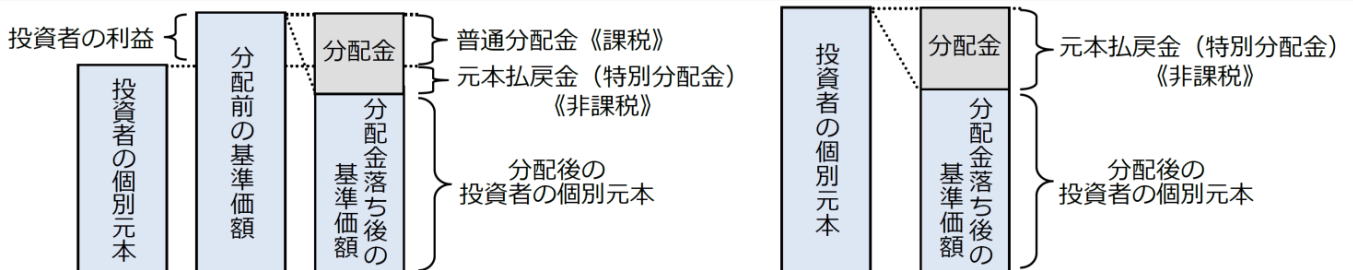


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金） … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

【ファンドの特色】

- 「野村北米REIT投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる6つのコース(円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、米ドルコース、メキシコペソコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の13本のファンドから構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く6つのコースを総称して「各コース」といいます。)
 - ◆ 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
 - ◆ 米国およびカナダの金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されているREIT(不動産投資信託証券)を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネーマーケット マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆ 円建ての外国投資信託「ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンド」および国内投資信託「野村マネーマーケット マザーファンド」を投資対象とします。
・「ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンド」には、為替取引手法の異なる6つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)/年2回決算型	外貨建資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
豪ドルコース (毎月分配型)/年2回決算型	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。
ブラジルリアルコース (毎月分配型)/年2回決算型	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。
南アフリカランドコース (毎月分配型)/年2回決算型	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、南アフリカランドを買う為替取引を行いません。
米ドルコース (毎月分配型)/年2回決算型	外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
メキシコペソコース (毎月分配型)/年2回決算型	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。

- ◆ 通常の状態においては、「ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
※通常の状態においては、「ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆ 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
 - ◆ 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
 - ◆ 円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネーマーケット マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆ 「野村マネーマーケット マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
 - ◆ ファンドは「野村マネーマーケット マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村北米REIT投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。
- 分配の方針
 - ◆ 毎月分配型
 - 原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
 - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。
 - なお、毎年3月および9月の決算時には、上記分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
 - ※コースによっては、投資信託約款上「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。
 - ◆ 年2回決算型
 - 原則、毎年3月および9月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、REIT(不動産投資信託証券)および債券等に実質的に投資する効果を有しますので、当該REITの価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該REITおよび当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 【各コース】(米ドルコース、メキシコペソコースを除く)
2024年9月17日まで(2009年10月21日設定)
【米ドルコース、メキシコペソコース】
2024年9月17日まで(2014年6月9日設定)
【マネープールファンド】
2019年9月17日まで(2009年10月21日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万円以上1口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
【マネープールファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨークの銀行・ニューヨーク証券取引所
・サンパウロの銀行(ブラジルレアルコースのみ)
・ブラジル商品先物取引所(ブラジルレアルコースのみ)
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2018年12月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.78%(税抜3.5%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.6204%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 なお、ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示していません。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(2018年12月7日現在年0.001188%(税抜年0.0011%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等にに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★

http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。